

えたいの知れない組織 革マル派 アジトから警視庁人事情報が押収される

革マル派は未だに警察当局の情報を監視しているのだろうか…

産経新聞は、2月21日朝刊で、「『えたいの知れない』組織解明へ 水面下で情報収集活発」と掲載した。

1月10日に東京都葛飾区の革マル派非公然アジトを家宅搜索した警察当局は、植田議長の本名判明とともに、警視庁の人事情報が記された資料を押収していた模様。情報は複数年にわたって継続して行われていたとみられ、過激派の捜査を担当する公安部幹部の異動経歴なども把握していた模様と報じた。

以下、掲載内容から抜粋する。

革マル派は今回の植田議長の本名判明について、「笑止千万の妄言」とするコメントを発表。捜査について「わが革マル派に対する政治的弾圧である」とした。公安関係者は「飛翔弾を発射するなどの派手な動きはないが、黒田前議長の思想を強烈に崇拝しており、他勢力とは違うえたいの知れなさがある。今後も警戒が必要だ」と話している。

革マル派については、これまでも非公然アジトの家宅搜索によって警察無線を盗聴していた事実が判明した他、偽造警察手帳や印鑑・鍵類などが見つかるなどの事実も判明している。

今回の家宅搜索によって警視庁人事資料が発見された。革マル派は現在でも活発に情報収集を展開しているようである。

警察庁「治安の回顧と展望(平成28年版)」

革マル派が相当浸透しているJR総連・JR東労組について言及

昨年12月22日に警察庁が公表した「治安の回顧と展望(平成28年版)」において、極左暴力集団である革マル派が労働運動や大衆運動を通じて組織の維持・拡大を図ったとの指摘のほか、JR総連及びJR東労組について記述されるなど、警察当局も引き続きその動向に注視していることが明らかになった。

JR総連・JR東労組にも相当浸透している
「えたいの知れない組織 革マル派」の一扫を！！